

Ⅲ 調査結果の分析

1 定住性

1－1 居住年数

1－2 定住意向

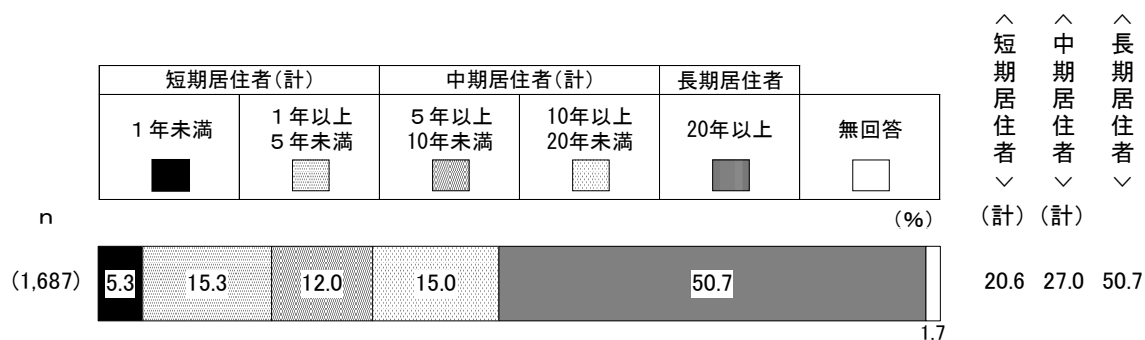
1－3 定住意向理由と転出意向理由

1-1 居住年数

- 「20年以上」の＜長期居住者＞が約5割

問1 あなたは、墨田区に住んで何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-1-1



(注) ＜短期居住者(計)＞＝「1年未満」＋「1年以上5年未満」

＜中期居住者(計)＞＝「5年以上10年未満」＋「10年以上20年未満」

＜長期居住者＞＝「20年以上」

墨田区に住んで何年になるか聞いたところ、「1年未満」(5.3%)と「1年以上5年未満」(15.3%)を合わせた＜短期居住者(計)＞(20.6%)が約2割、「5年以上10年未満」(12.0%)と「10年以上20年未満」(15.0%)を合わせた＜中期居住者(計)＞(27.0%)が3割近く、「20年以上」の＜長期居住者＞(50.7%)が約5割となっている。(図1-1-1)

昭和57年からの推移をみると、＜長期居住者＞は平成14年以降、緩やかな減少傾向にある。

(図1-1-2)

ブロック別でみると、＜長期居住者＞はA・Bブロックで6割台と高く、Hブロックで3割を超える程度と低くなっている。一方、＜短期居住者(計)＞はHブロックで3割を超えて高くなっている。(図1-1-3)

図 1 - 1 - 2 居住年数構成の推移

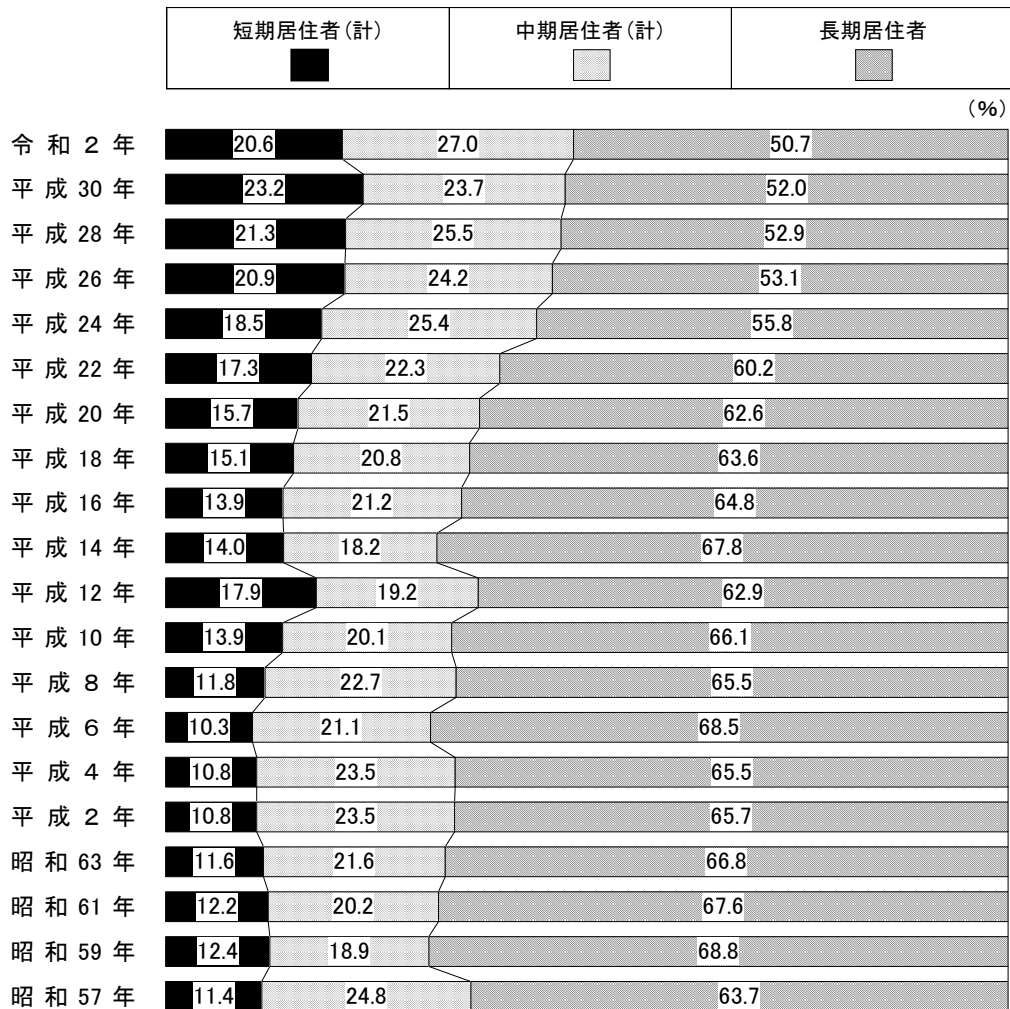
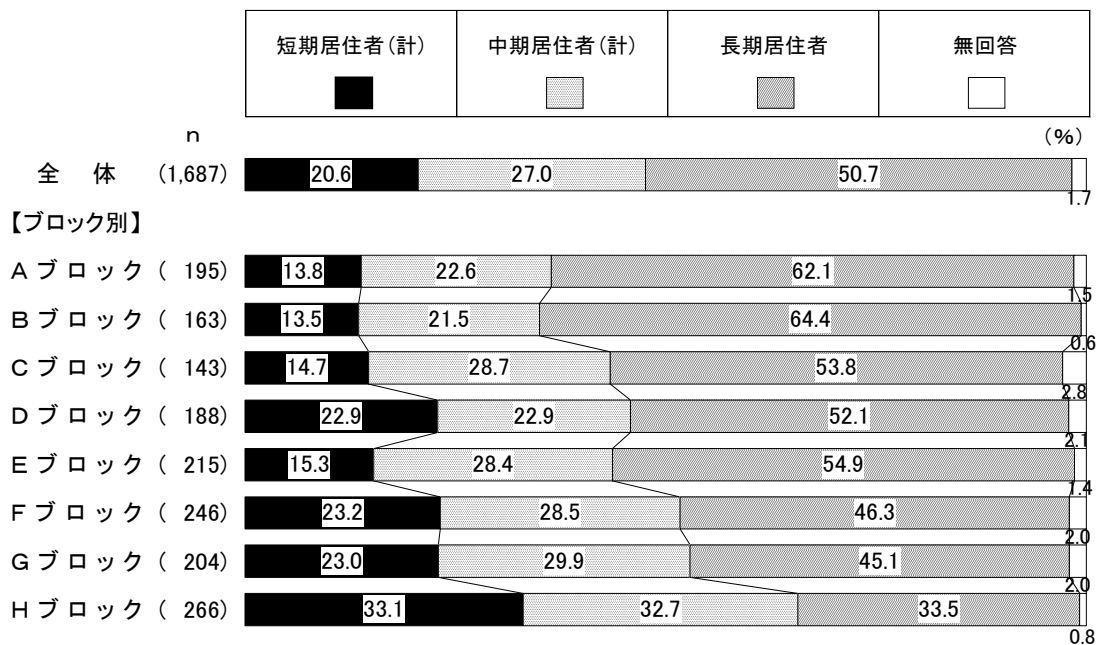


図 1 - 1 - 3 ブロック別 居住年数構成

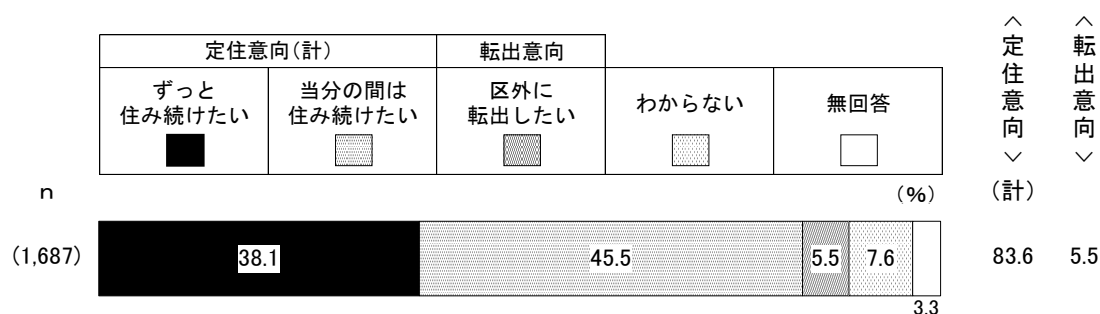


1-2 定住意向

- <定住意向（計）>が8割を超える

問2 あなたは、これからも墨田区に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-2-1



これからも墨田区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（38.1％）が4割近くとなっており、これに「当分の間は住み続けたい」（45.5％）を合わせた<定住意向（計）>（83.6％）は8割を超えている。これに対して「区外に転出したい」（5.5％）という<転出意向>は1割未満となっている。（図1-2-1）

昭和57年からの推移をみると、<定住意向（計）>は平成10年をピークに平成20年まで減少傾向にあったが、平成22年で増加に転じ、8割以上で推移している。（図1-2-2）

ブロック別でみると、<定住意向（計）>はD・Fブロックで9割近くと高くなっている。

（図1-2-3）

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、<定住意向（計）>は女性60歳代で約9割と高くなっている。

（図1-2-4）

東京都・区部と比較すると、<定住意向（計）（住みたい）>は墨田区（83.6％）で8割を超えており、東京都（76.6％）より7.0ポイント、区部（77.3％）より6.3ポイント上回っている。

（図1-2-5）

図 1 - 2 - 2 定住意向の推移

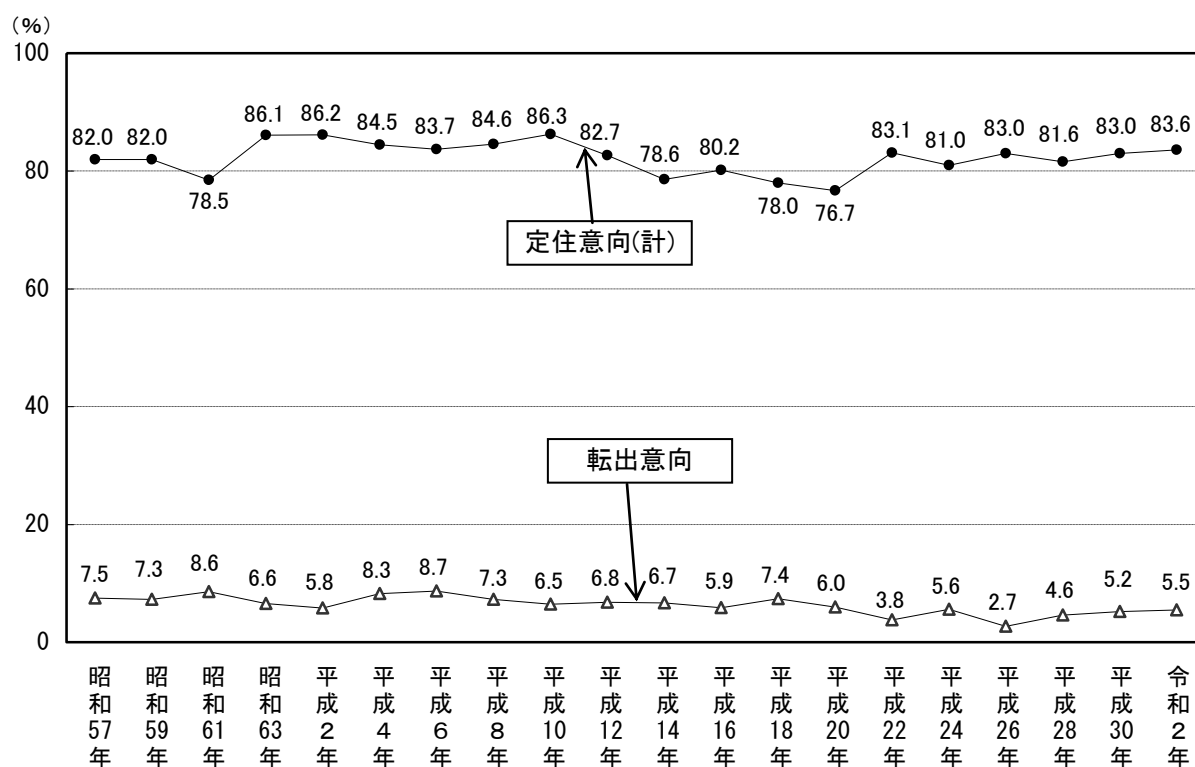


図 1 - 2 - 3 ブロック別 定住意向

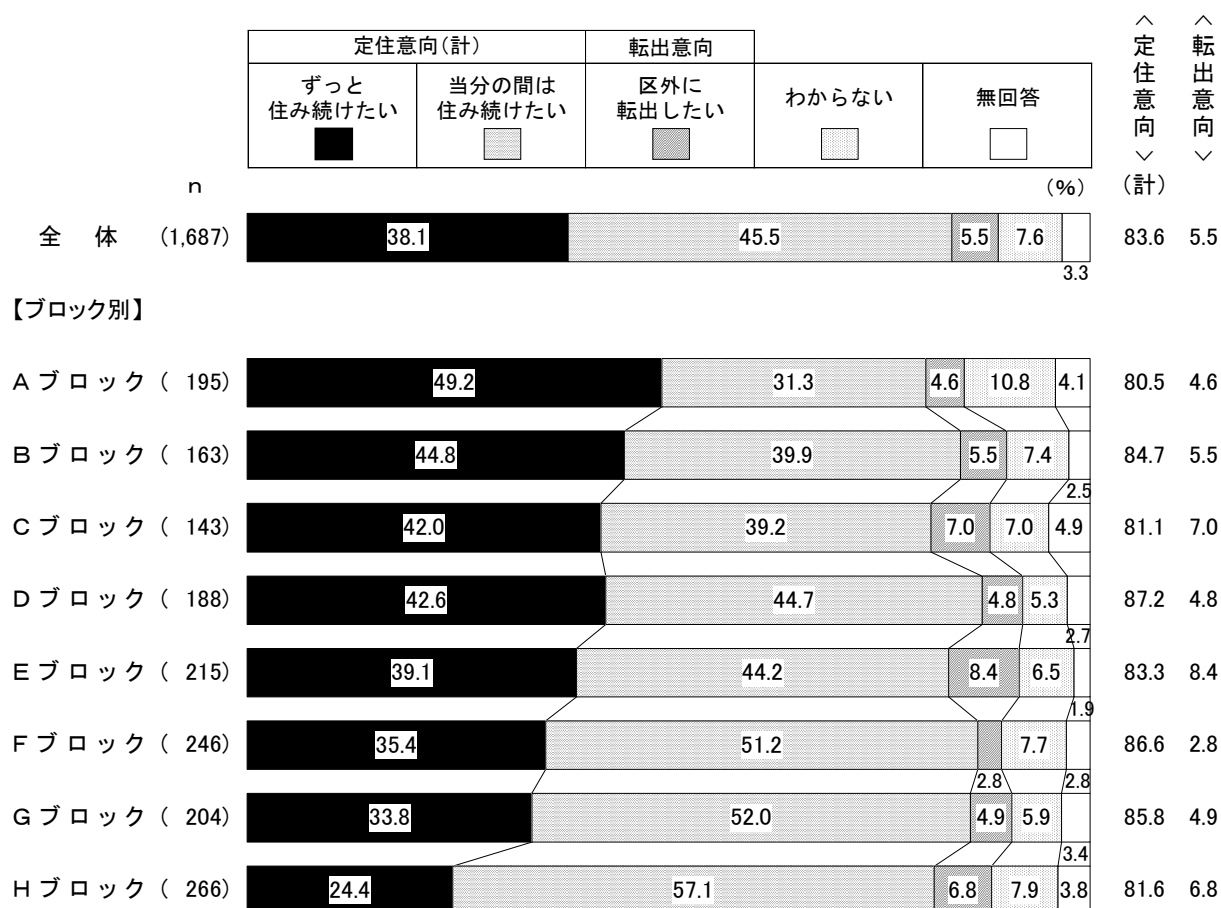


図 1-2-4 性別、性・年代別 定住意向

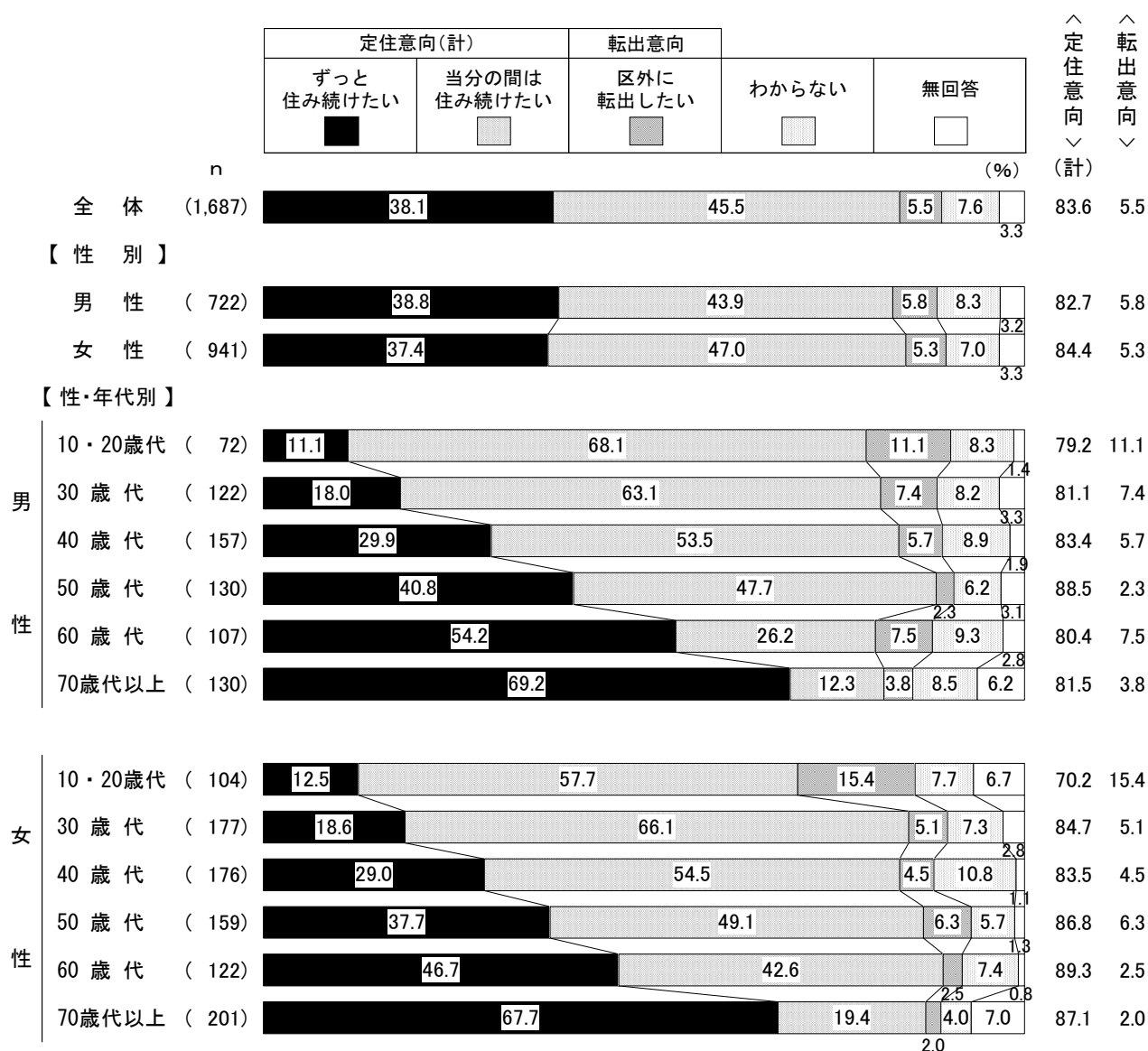
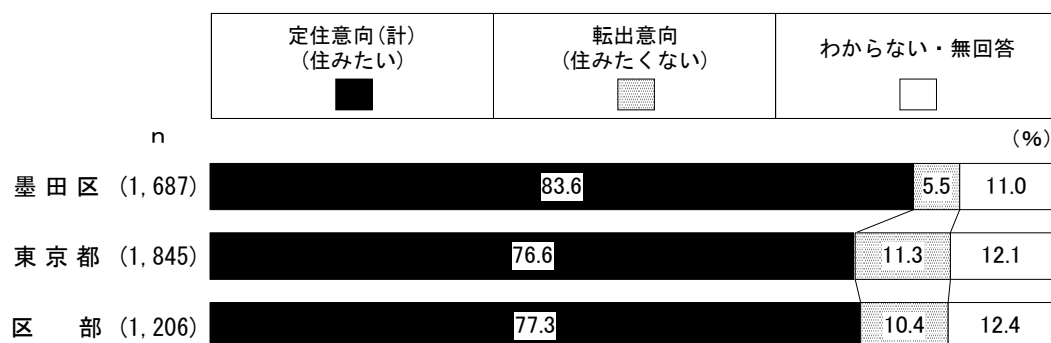


図 1-2-5 東京都・区部との比較 定住意向



(注1) 東京都と区部は地域定住意向の調査結果

(注2) 表頭の()内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和元年)

1－3 定住意向理由と転出意向理由

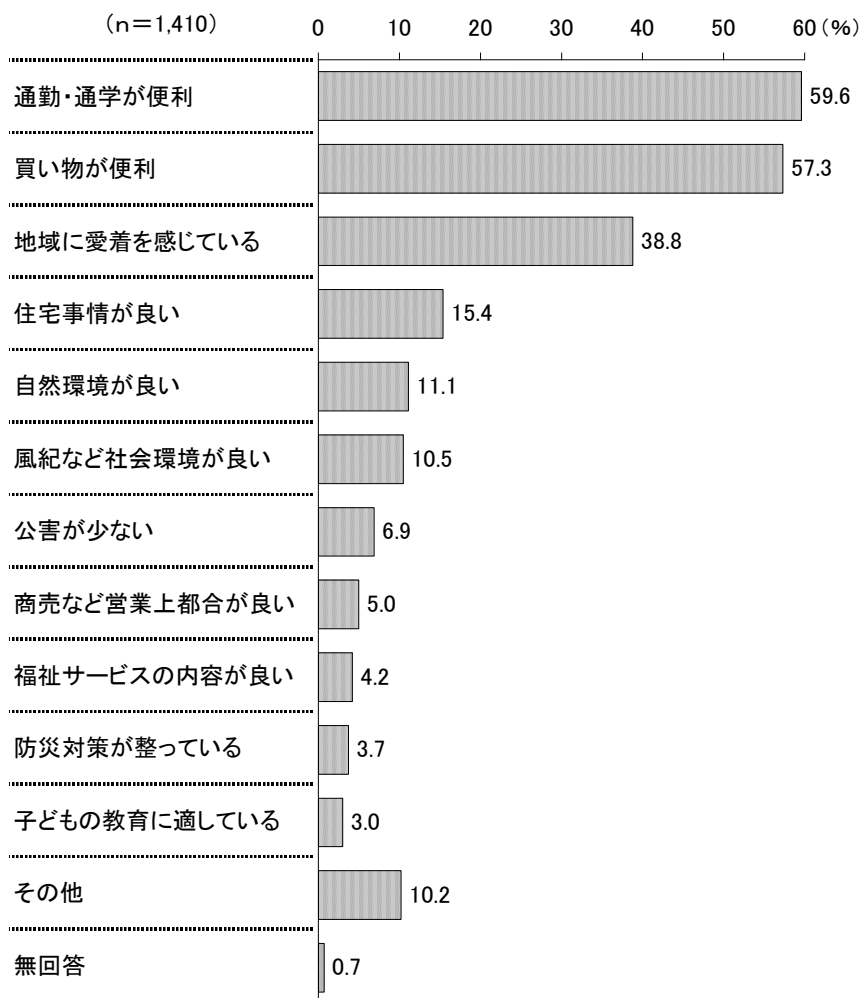
(1) 定住意向理由

- 「通勤・通学が便利」が6割

〔問2で「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」と答えた方に〕

問2－1 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

図1－3－1



墨田区に「ずっと住みたい」「当分の間は住みたい」という人(1,410人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学が便利」(59.6%)が6割で最も高く、次いで「買い物が便利」(57.3%)、「地域に愛着を感じている」(38.8%)、「住宅事情が良い」(15.4%)となっている。

(図1－3－1)

定住意向の理由上位3項目を属性別でみると、地域別では、北部は「買い物が便利」、「通勤・通学が便利」、「地域に愛着を感じている」の間に大きな差はないが、南部は「通勤・通学が便利」が約7割と高くなっている。

ブロック別でみると、「買い物が便利」はA・C・E・Gブロックで第1位、「通勤・通学が便利」はB・D・F・Hブロックで第1位となっている。

性別でみると、男女ともに「通勤・通学が便利」が最も高くなっている。

性・年代別でみると、男性の60歳代以下の年代と女性の50歳代以下の年代で「通勤・通学が便利」が最も高く、女性の60歳代と70歳代以上、男性70歳代以上で「買い物が便利」が最も高くなっている。「地域に愛着を感じている」は男女ともに70歳代以上で第2位となっている。(表1-3-1)

表1-3-1 地域別、ブロック別、性別、性・年代別 定住意向理由

(%)

分析項目			n	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
全 体			(1, 410)	通勤・通学が便利	59. 6	買い物が便利	57. 3	地域に愛着を感じている	38. 8	
地域別	北部地域		(754)	買い物が便利	56. 4	通勤・通学が便利	52. 8	地域に愛着を感じている	43. 0	
	南部地域		(605)	通勤・通学が便利	69. 1	買い物が便利	58. 7	地域に愛着を感じている	33. 9	
ブロック別	Aブロック		(157)	買い物が便利	49. 7	地域に愛着を感じている	43. 9	通勤・通学が便利	38. 9	
	Bブロック		(138)	通勤・通学が便利	58. 7	買い物が便利	52. 9	地域に愛着を感じている	45. 7	
	Cブロック		(116)	買い物が便利	56. 9	通勤・通学が便利	49. 1	地域に愛着を感じている	41. 4	
	Dブロック		(164)	通勤・通学が便利	54. 9	買い物が便利	53. 0	地域に愛着を感じている	43. 9	
	Eブロック		(179)	買い物が便利	67. 6	通勤・通学が便利	60. 9	地域に愛着を感じている	40. 2	
	Fブロック		(213)	通勤・通学が便利	62. 4	買い物が便利	49. 3	地域に愛着を感じている	39. 4	
	Gブロック		(175)	買い物が便利	76. 0	通勤・通学が便利	71. 4	地域に愛着を感じている	32. 6	
	Hブロック		(217)	通勤・通学が便利	73. 7	買い物が便利	53. 9	地域に愛着を感じている	29. 5	
性別	男 性		(597)	通勤・通学が便利	59. 5	買い物が便利	53. 9	地域に愛着を感じている	36. 9	
	女 性		(794)	通勤・通学が便利	60. 3	買い物が便利	59. 9	地域に愛着を感じている	40. 1	
性・年代別	男性	10・20歳代		(57)	通勤・通学が便利	77. 2	買い物が便利	61. 4	住宅事情が良い	28. 1
		30 歳 代		(99)	通勤・通学が便利	76. 8	買い物が便利	55. 6	地域に愛着を感じている	28. 3
		40 歳 代		(131)	通勤・通学が便利	70. 2	買い物が便利	48. 1	地域に愛着を感じている	29. 0
		50 歳 代		(115)	通勤・通学が便利	60. 9	買い物が便利	55. 7	地域に愛着を感じている	39. 1
		60 歳 代		(86)	通勤・通学が便利	54. 7	買い物が便利	50. 0	地域に愛着を感じている	47. 7
		70歳代以上		(106)	買い物が便利	56. 6	地域に愛着を感じている	50. 0	通勤・通学が便利	23. 6
	女性	10・20歳代		(73)	通勤・通学が便利	83. 6	買い物が便利	57. 5	地域に愛着を感じている	20. 5
		30 歳 代		(150)	通勤・通学が便利	78. 0	買い物が便利	59. 3	地域に愛着を感じている	32. 0
		40 歳 代		(147)	通勤・通学が便利	70. 1	買い物が便利	57. 8	地域に愛着を感じている	34. 0
		50 歳 代		(138)	通勤・通学が便利	72. 5	買い物が便利	59. 4	地域に愛着を感じている	39. 1
		60 歳 代		(109)	買い物が便利	63. 3	通勤・通学が便利	48. 6	地域に愛着を感じている	47. 7
		70歳代以上		(175)	買い物が便利	61. 7	地域に愛着を感じている	56. 0	通勤・通学が便利	25. 1

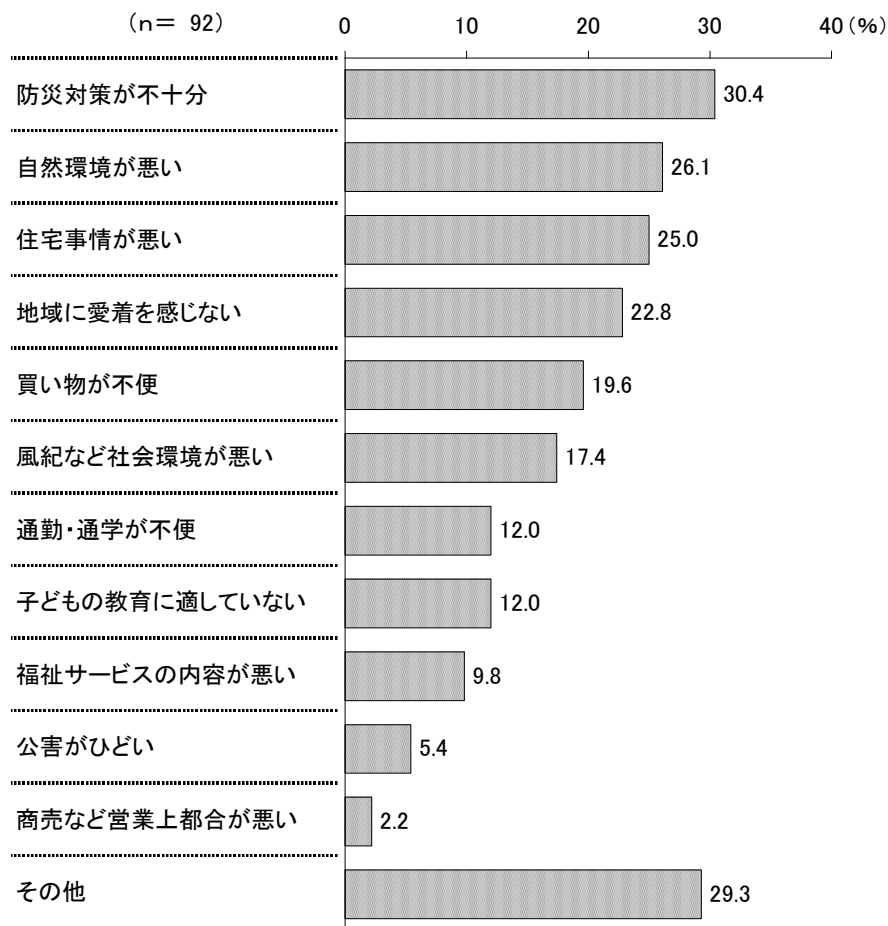
(2) 転出意向理由

- 「防災対策が不十分」が3割

〔問2で「区外に転出したい」と答えた方に〕

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

図1-3-2



「区外に転出したい」という人(92人)にその理由を聞いたところ、「防災対策が不十分」(30.4%)が3割で最も高く、次いで「自然環境が悪い」(26.1%)、「住宅事情が悪い」(25.0%)、「地域に愛着を感じない」(22.8%)となっている。(図1-3-2)